

第二期データヘルス計画 進捗状況

【喫煙率の減少に向けた取組の推進】

目次

1. 第二期データヘルス計画のスケジュール等について（振り返り）
2. 喫煙率の推移等について
3. 第二期データヘルス計画 中位・上位目標の達成見込について
4. 令和元年度 データヘルス計画の取組に関する効果測定結果(速報値)
5. 令和2年度 データヘルス計画の実施状況

1. 第二期データヘルス計画のスケジュール等について（振り返り）

【第二期データヘルス計画 スケジュール】

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
第 二 期 デ ー タ ヘ ル ス 計 画					
H30 事業計画	R元 事業計画	R2 事業計画	R3 事業計画	R4 事業計画	R5 事業計画
		第二期 中間評価			
第一期 最終評価					第二期 最終評価

【第二期データヘルス計画における北海道支部の目標】

上位目標

- 喫煙習慣が発症原因となり得る疾患（悪性新生物・循環器疾患等）の発症を予防するため、平成27年度実績で全国平均より8.02%ポイント高い北海道支部被保険者（35歳～74歳）の喫煙率について、**令和9年度までに36.44%以下（全国平均との乖離幅を半減）**とする

中位目標

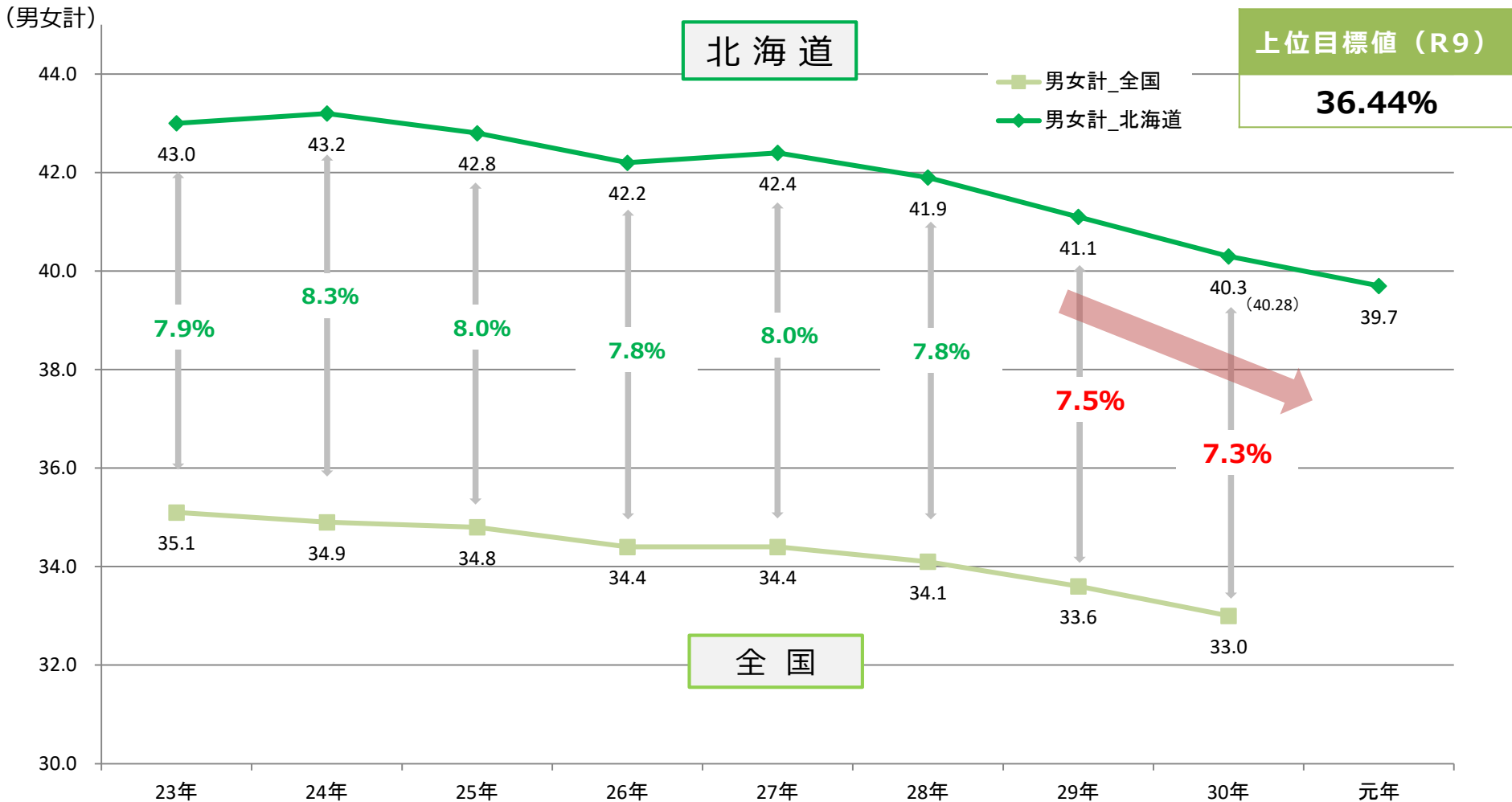
- 北海道支部被保険者の喫煙率を**令和5年度までに38.41%以下**とする

下位目標

- 1年につき喫煙率**0.493%減少**させる

2. 喫煙率の推移等について(全体)

- 平成30年度の喫煙率（男女計）は40.3%と、全国1位の高さ（2位は青森の38.6%）であり、全国平均と比較しても、7.3%ポイントの差が生じている（最も低い沖縄県の27.1%と比較した場合、13.2%ポイントも高くなっている）。
- 平成23年度以降、全国平均との差はなかなか縮まっていなかったが、平成28年度から平成30年度にかけて2年連続で差が縮まっている。

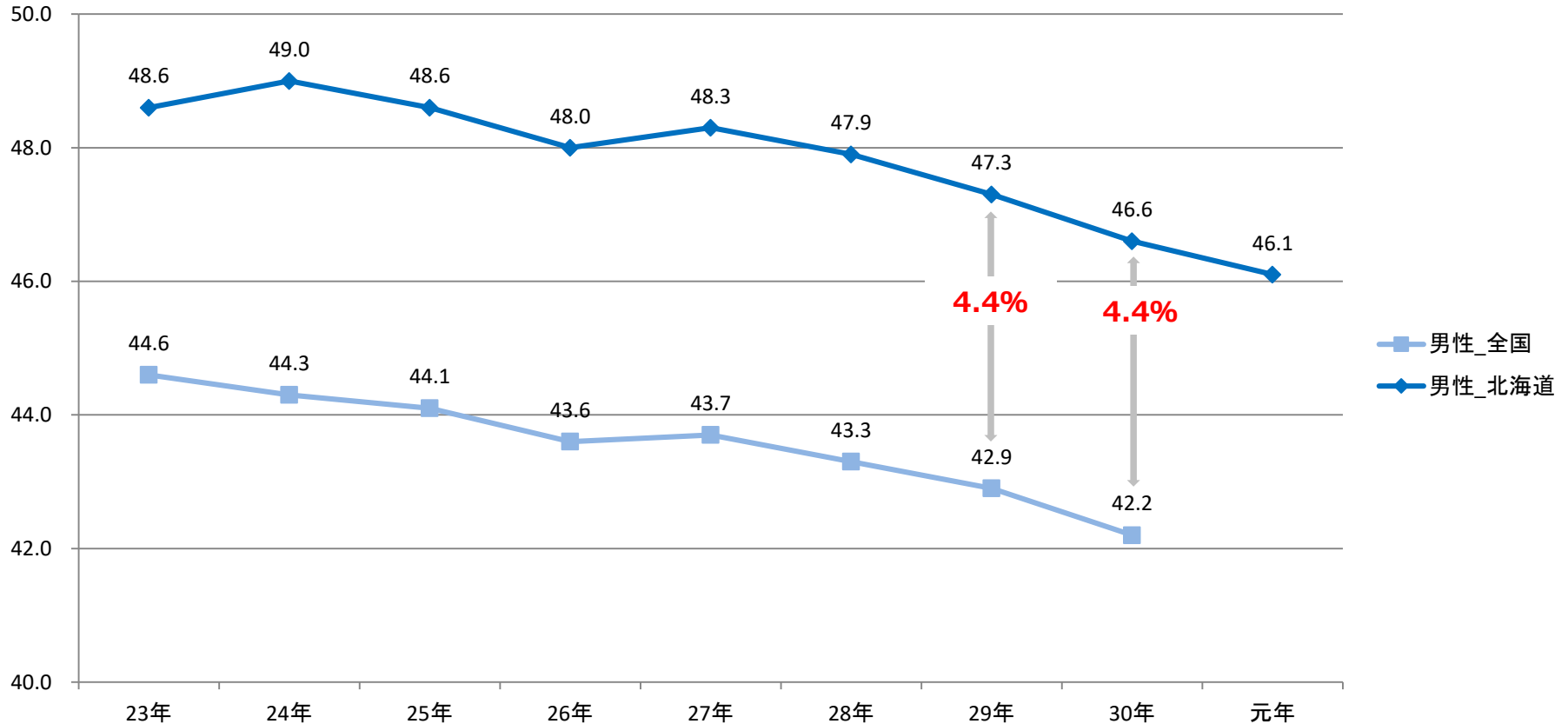


※喫煙率は35歳以上74歳以下の被保険者、かつ1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者の健診（生活習慣病予防健診）データに基づき算出

2. 喫煙率の推移等について(男性)

- 平成30年度の喫煙率（男性）は46.6%であり、全国7位の高さ（1位は青森48.6%、2位は岩手47.6%）。
- 全国平均と比較して4.4%ポイントの差が生じており、最も低い沖縄県の36.9%と比較した場合、9.7%ポイントも高くなっている。
- 平成23年度以降の全国平均との差は4.0%～4.7%ポイントで推移しており、一向に差は縮まっていない。
⇒喫煙率の改善傾向が認められない

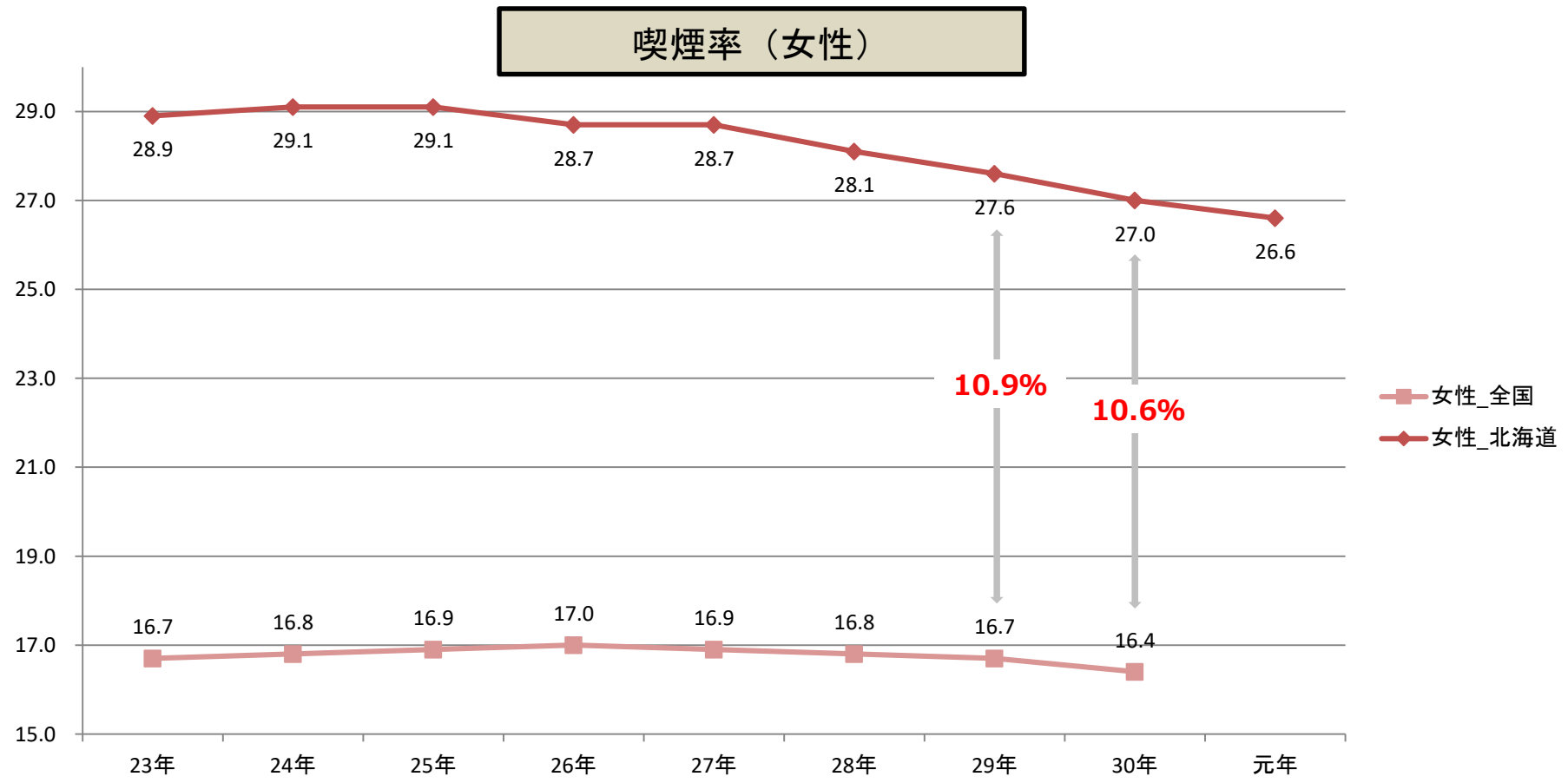
喫煙率（男性）



※喫煙率は35歳以上74歳以下で、1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者の健診（生活習慣病予防健診）データに基づき算出

2. 喫煙率の推移等について(女性)

- 平成30年度の喫煙率（女性）は27.0%であり、全国1位の高さ（2位は青森の22.3%）。
- 全国平均と比較して10.6%ポイントの差が生じており、最も低い島根県の10.5%と比較した場合、16.5%ポイントも高くなっている。
- なお、平成23年から平成28年度までの間の全国平均との差は11.3%～12.3%ポイントで推移していたが、26年度以降は10.6%～10.9%ポイントで推移しており、徐々に減少している。
- 全国平均については、平成23年度と平成29年度が同じ16.7%ポイントと変化が見られない傾向にあるが、北海道支部においては、平成23年度から平成30年度にかけ、1.9%ポイントの改善がみられる。

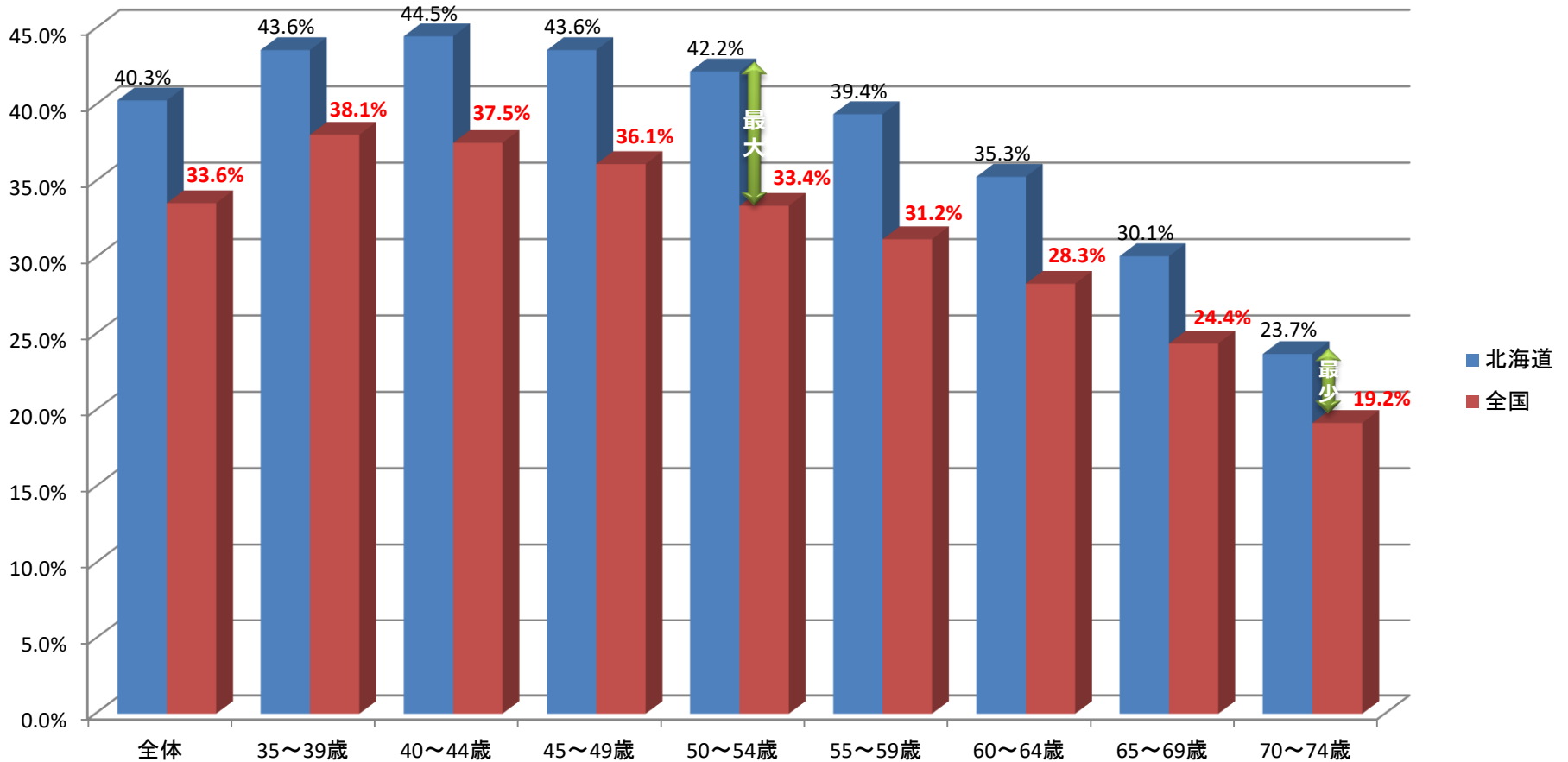


※喫煙率は35歳以上74歳以下で、1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者の健診（生活習慣病予防健診）データに基づき算出

2. 喫煙率の推移等について(年代別)

- 北海道の被保険者については、全ての年代で全国平均を4.5～8.8%ポイント上回っている。
- なお、全国平均との乖離幅が最も大きいのは50～54歳の8.8%ポイントであり、最も小さいのは70～74歳の4.5%ポイントである。

平成30年度喫煙率（年代別）



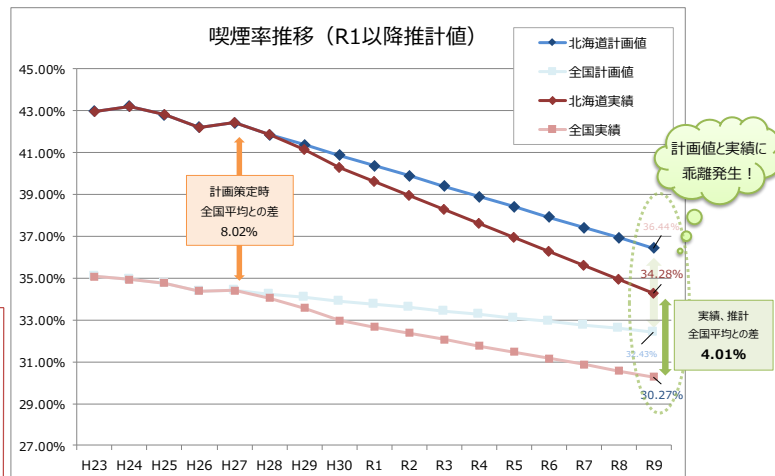
※喫煙率は35歳以上74歳以下で、1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者の健診（生活習慣病予防健診）データに基づき算出

3. 第二期データヘルス計画 中位・上位目標の達成見込について

第二期DH計画策定時と、現状の数値（喫煙率）に乖離が生じており、令和2年度において、これまでの事業結果等を分析及び検証のうえ、目標（数値）の修正の要否について、検討する。（H30～R2の結果で第二期DH計画の中間評価を行う）

喫煙率推移（R1以降推計値）

年度	計画策定時			実績及び推計			
	北海道	全国	全国との差	北海道	全国	全国との差	北海道の前年からの減少値
H23	42.97%	35.07%	7.90%	42.97%	35.07%	7.90%	-
H24	43.22%	34.94%	8.28%	43.22%	34.94%	8.28%	0.250%
H25	42.82%	34.77%	8.05%	42.82%	34.77%	8.05%	-0.400%
H26	42.21%	34.39%	7.82%	42.21%	34.39%	7.82%	-0.610%
H27	42.43%	34.41%	8.02%	42.43%	34.41%	8.02%	0.220%
H28	41.86%	34.25%	7.61%	41.87%	34.05%	7.82%	-0.560%
H29	41.37%	34.08%	7.29%	41.14%	33.57%	7.57%	-0.730%
H30	40.87%	33.92%	6.95%	40.27%	32.96%	7.31%	-0.870%
R1	40.38%	33.75%	6.63%	39.61%	32.67%	6.94%	-0.657%
R2	39.89%	33.59%	6.30%	38.95%	32.37%	6.58%	-0.667%
R3	39.40%	33.42%	5.98%	38.28%	32.07%	6.21%	-0.667%
R4	38.90%	33.26%	5.64%	37.61%	31.77%	5.84%	-0.667%
R5	38.41%	33.09%	5.32%	36.95%	31.47%	5.48%	-0.667%
R6	37.92%	32.93%	4.99%	36.28%	31.17%	5.11%	-0.667%
R7	37.42%	32.76%	4.66%	35.61%	30.87%	4.74%	-0.667%
R8	36.93%	32.60%	4.33%	34.95%	30.57%	4.38%	-0.667%
R9	36.44%	32.43%	4.01%	34.28%	30.27%	4.01%	



計画策定時（H29時点）

H23～H28の減少率で推計

- ・ H29時点で直近の数値となるH27実績で北海道と全国の差は**8.02%** → 上位目標である「R9年度に半減」するには、差が4.01%
- ・ 全国のH28までの平均減少率（-0.16～-0.17%）を単純にR9まで適用すると、R9推定喫煙率は32.43%
- ・ 推計値で北海道と全国の差をR9までに半減させるには、北海道のR9目標喫煙率は36.44%（全国との差4.01%）となる
- ・ H28北海道 41.86%→R9推計値 36.44%を、11年間において均等減少として推計した場合、0.493%減少/年とする必要がある

計画策定時の推計を現在の数値に置き換えると・・・

現在（H30実績）

H23～H30の減少率で推計

- ・ H30時点で北海道と全国の差は**7.31%**である
- ・ 全国のH30までの平均減少率（-0.30%）を単純にR9まで適用すると、R9推定喫煙率は30.27%
- ・ 推計値で北海道と全国の差をR9までに半減させるには、**北海道のR9目標喫煙率34.28%（全国との差4.01%）**
- ・ H30北海道 40.28%→R9推計値 34.28%を、9年間において均等減少として推計した場合、**0.667%減少/年**とする必要がある

結論

R2年度の北海道支部の目標である生活習慣病予防健診実施見込者数 395,000人をベースに0.667%減少/年を試算すると

2,635人/年の禁煙が必要

⇒「リスクスコアを活用した禁煙啓発個別通知」および「医師による簡易禁煙指導」などの取り組みを柱にPDCAを回し、目標達成を目指す！

4. 令和元年度 データヘルス計画の取組に関する効果測定結果(速報値)

1. リスクスコアを活用した喫煙者に対する個別通知の送付

- 従前より実施している「タバコの有害性や具体的な禁煙方法」のほか、「自分ごと化」に繋げるため、リスクスコア（疾病発症確率）を活用し、禁煙した場合の脳卒中及び心筋梗塞の発症率がどの程度低下するかに関するオーダーメイド型の通知を令和2年1月8日に送付した。
- 送付対象としては、35歳以上の北海道支部被保険者で喫煙習慣のある約20万人のうち、年代・性別を均等化したうえで、リスクの高いものを優先した結果、28,578人を対象者とした。
- 通知後の反響として「脅しか。余計なお世話だ。」等の否定的な意見もあった一方、対象者のご家族から「本人に何度言っても聞き入れてもらえなかった。非常に良い取り組みだ。」と肯定的なご意見も頂戴した。
- 事業の効果測定は、令和2年度下期から健診及びレセプトデータを活用のうえ、順次実施している。

効果測定結果（中間） ※個別通知対象者かつR2.4-8の間に健診を受診した者を対象	
対象者	喫煙者⇒非喫煙者
8,551人	835人 (10.2%)

【参考】禁煙外来受診者 ※R2.1 - R2.11のレセプトデータにより追跡
132人

- なお、政府の緊急事態宣言発令に伴い、令和2年4月22日～令和2年5月31日までの間、健診事業を縮小したため、例年よりも健診受診者数が大きく減少しており、本格的な効果測定については、令和3年度中の実施となる。

【参考】生活習慣病予防健診受診者 推移（コロナの影響度）						
年度	4月	5月	6月	7月	8月	合計
令和元年度	38,714	40,698	45,153	45,347	35,276	205,188
令和2年度	23,664	8,371	45,760	46,565	40,787	165,147
対前年比	-39%	-80%	+102%	+103%	+115%	-20%

4. 令和元年度 データヘルス計画の取組に関する効果測定結果(速報値)

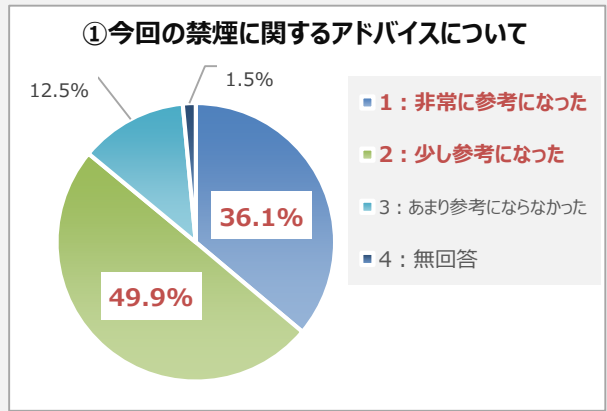
2. 医師による簡易禁煙指導

- 令和元年度の目標として、20,000人への指導完了を掲げ、22機関の健診機関と委託契約を締結した。
- 令和元年9月末時点で約4,400人に対し指導が完了していたが、目標から大幅な乖離が生じていたため、令和元年10月7日付で受託機関の再公募を行い、新たに13機関に応募をいただき、実施件数向上を図った。
- 実施結果としては、**15,050件 (35委託機関合計)** に対し、**禁煙指導を完了**した。
- 事業の効果測定については、令和2年度下期から健診及びレセプトデータ等を活用のうえ、順次実施している。なお、前述の「リスクスコアを活用した喫煙者に対する個別通知の送付」と同様に、本格的な効果測定は令和3年度中の実施となる。

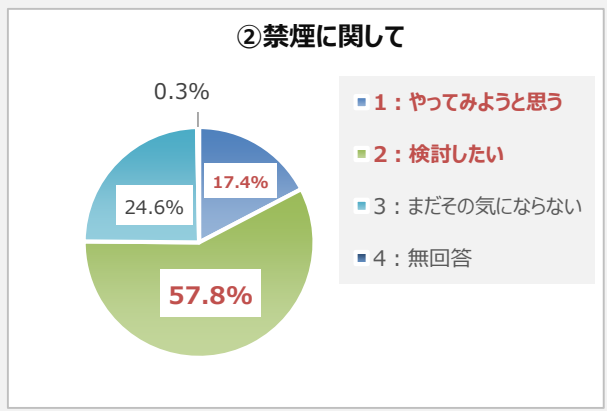
効果測定結果(中間)	
※個別通知対象者かつR2.4-8の間に健診を受診した者を対象	
対象者	喫煙者⇒非喫煙者
2,333人	172人 (7.3%)

【参考】禁煙外来受診者
 ※R1.4 - R2.11のレプトデータにより追跡
 81人

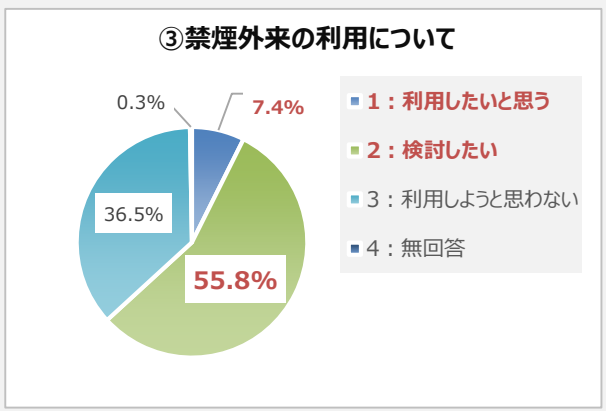
アンケート集計結果



86%が「参考になった」



75%が「禁煙を検討する機会になった」



63%が「禁煙外来を希望・検討する」

5. 令和2年度 データヘルス計画の実施状況

【ハイリスクアプローチ関係】

1. リスクスコアを活用した喫煙者に対する個別通知の送付（12月）

- 前年度に引き続き、リスクスコア（疾病発症確率）を活用し、禁煙した場合の脳卒中及び心筋梗塞の発症率がどの程度低下するかに関するオーダーメイド型の通知を送付する。
- 送付対象としては、35歳以上の北海道支部被保険者で喫煙習慣のある約20万人のうち、令和元年度に送付した対象者は除外し、年代・性別を均等化したうえで、リスクの高いものを優先した。なお、当該通知は、12月4日、12月11日の2回に分け、29,999人に対し送付した。
- 送付後の反響としては、数値算出の根拠等を求めるお問い合わせがあったものの、昨年度いくつかあったいただいた否定的なご意見はなかった。今後、令和3年度中の健診結果データを分析の上、令和4年度中に効果測定を行う予定である。

個別通知（見本）

禁煙の効果ってすごいです。

24時間
ニコチンが体内から消滅し、気分が楽になる。

2週間～3ヶ月
心臓の働きが改善され、血圧が下がる。

1年
肺がんの発症リスクが半減する。

5～9年
脳卒中の発症リスクが半減する。

24時間
気分が楽になる。

1ヶ月～9ヶ月
心臓の働きが改善され、血圧が下がる。

2～4年
心臓病の発症リスクが半減する。

10～15年
肺がんの発症リスクが半減する。

タバコの健康被害は、気づきにくい。だから怖い。

禁煙、ぜひ一度、考えてみてください。
このお知らせが、あなたの健康を変える
チカラにならうと思います。

全国健康保険協会 北海道支部
協会けんぽ

▲表面

北海 太郎 様

あなたの疾病発症リスク、吸ってない人に比べてこんなに違います。

血管年齢は... 70歳 (+20歳)

脳卒中のリスクは... 約10.0倍

心筋梗塞のリスクは... 約5.0倍

禁煙すると約5.0倍に低下

禁煙すると約2.5倍に低下

禁煙外来

禁煙補助剤

▲中面

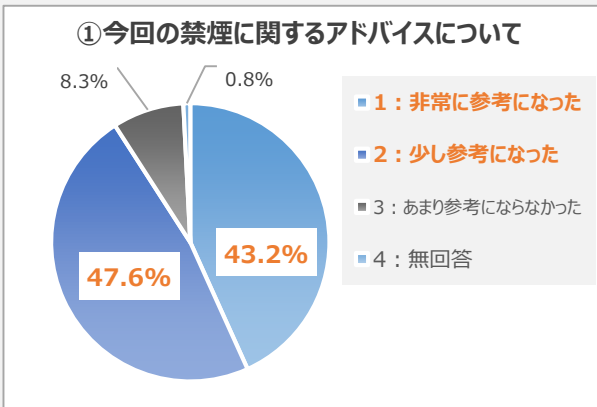
5. 令和2年度 データヘルス計画の実施状況

2. 医師による簡易禁煙指導（通年）

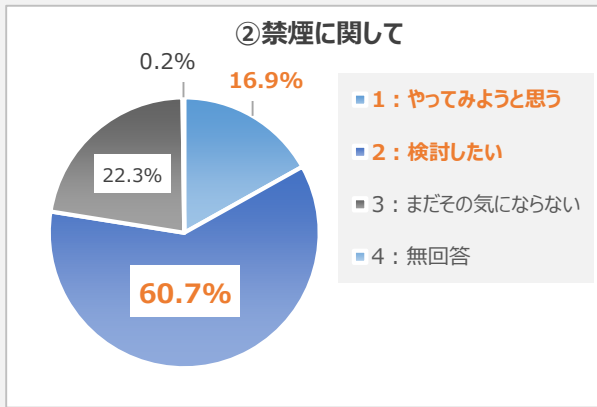
- 前年度において未達となった20,000人への指導完了という目標を改めて掲げ、38機関の健診機関と委託契約を締結した。
- 公募時において、全機関の実施見込人数の合計が31,425人となり、事業予算を超過する可能性が発生したため、令和2年3月末で一旦公募を終了した。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月22日～5月31日の間において、健診を一時休止したことに伴い、本事業も停滞していた。その後、健診が再開した6月以降、大規模健診機関を中心に、実施状況・見込のヒアリングを行う等、進捗管理を徹底した結果、目標達成を見込める数値まで改善してきている。

受託機関数	実施件数（全機関合計）	目標達成率（令和3年1月末時点）
38機関	17,218	86.0%（103.1%）

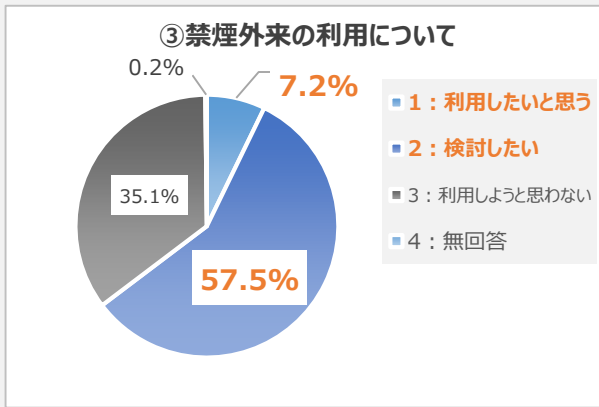
アンケート集計結果



91%が
「参考になった」



77%が
「禁煙を検討する機会になった」



65%が
「禁煙外来を希望・検討する」

5. 令和2年度 データヘルス計画の実施状況

【ポピュレーションアプローチ関係】

3. 禁煙推進Webセミナーの開催（12月）

- 職場の禁煙推進に決定権のある事業主又は事業所の労務管理責任者を対象とし、職場の禁煙推進に関し知見のある専門家（医師）を講師とした「禁煙推進Webセミナー（12月11日）」を開催（ファイザー株式会社と共催）した。
本セミナーを通じて、自事業所の職員に対する禁煙へのアプローチ等を行うきっかけとしていただき、北海道支部加入者の喫煙率低減を図った。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、Web形式で開催した。
- 参加申込人数については、11月末時点で55人となった。
- 令和3年度においても、12月頃に開催を予定しているが、開催方法（集合orWEB）については、直近の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、決定する。



▲セミナーリーフレット